

刑 事 訴 訟 法

(問 題)

2026 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子・解答用紙・貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 科目ごとに、指定された解答用紙を使用してください。
3. 問題冊子・解答用紙・下書用紙・貸与六法の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
5. 解答は、黒インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記載してください。ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 解答用紙表紙の受験番号、氏名欄以外に、受験者の氏名または特定人の答案であると判断されるものが記載されている場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 問題冊子・解答用紙・下書用紙・貸与六法の取替え、追加配布は行いません。なお、解答用紙のステープルは取り外さないでください。
9. 解答は横書きとし、解答欄の枠内に書いてください。解答欄の枠外（着色部分等）に記載した場合には、当該部分は採点されません。
10. 解答は1頁から連続して記載し、途中で空白の頁を生じさせないでください。誤って頁をとばした場合は、解答が連続していることを明らかにしてください。
11. 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次書き直してください。
12. 解答を1行おきに空けて記載した場合や、解答用紙を下書きに使用した場合は、答案のすべてを無効とすることがあります。
13. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり、解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
14. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。

問題（80 点）

自動車の助手席に乗った男が、通行人を拳銃で撃って殺害するという事件が発生した。警察官Kは、自動車を運転していた甲を殺人の被疑事実で逮捕し、連日取調べを行ったが、甲は、本件犯行について黙秘した。

警察官Kは、勾留 18 日目、甲に対し、「お前が運転手に過ぎないことは分かっているんだ。黙秘する必要はないじゃないか。拳銃を撃った奴は誰なんだ。お前が犯行について自白し、拳銃を隠した場所を言えば、確実に不起訴にしてやる。俺の言葉を信じろ」などと述べて、甲を説得した。

同日、甲は、警察官Kの言葉を信じて自白し、「私とその自動車を運転していたことは間違いありません。拳銃を撃ったのは乙です。拳銃は港に沈めました」などと述べた。そこで、警察官Kは、甲の上記自白を内容とする供述調書 1 通（本件供述調書）を作成した。

翌日、甲の自白に基づいて警察が港を搜索したところ、拳銃 1 丁（本件拳銃）が発見され、鑑定の結果、それが本件犯行に使用されたものであることが判明した。

その後、検察官は、甲を起訴した。この場合、甲の公判において、本件供述調書と本件拳銃を証拠とすることができるか、論じなさい。

〔以下余白〕

